



ご挨拶

神奈川県馬主協会会員の皆様におかれましては、日頃より川崎競馬の開催にあたりまして、多大なるご理解、ご協力並びにご指導、ご鞭撻を賜り心から御礼申し上げます。

本年 4 月より神奈川県川崎競馬組合副管理者を拝命いたしました鈴木基義でございます。私は神奈川県からの派遣職員ではありますが、競馬組合での経験が長く、今年で通算 13 年目となりました。引き続きどうぞよろしく願いたします。

現在、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、2 月 2 7 日から競馬場内にお客様をお迎えしないで開催する、いわゆる無観客競馬が続いております。

川崎競馬にとって初めての大変厳しい状況ではありますが、多くのイベントやスポーツの試合が中止になる中で、無観客ながらも開催を継続できていることに関しまして、馬主の皆様を始めとする競馬関係者の方々のご努力、ご協力に対し、深く感謝申し上げます。

さて、昨年度の川崎競馬の開催実績につきましては、年間の売上金が前年度比 8 % 増の 7 6 5 億余万円となり、平成 3 0 年度に記録した川崎競馬の売上金 7 0 8 億余万円を更新しました。これも貴協会をはじめとする競馬関係者の皆様や競馬ファンなど多くの方々のご支援の賜物と考えており、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

当組合では、さらなる川崎競馬の発展のために「強い馬づくり」に取り組んでおります。具体的には、より良い調教環境を提供するため、練習馬場を競走馬の状態等に応じた調教ができるよう改良しています。また、より快適な馬房にするため冷房設備の整備を継続しているところです。

この取り組みにより、スターホースとしての活躍が期待できる馬が少しでも多く小向きゅう舎に入厩していただければ幸いです。

昨年は全日本 2 歳優駿優勝のヴァケーションや東京ダービー優勝のヒカリオーソなど、格の高い重賞レースで川崎所属の優勝馬が次々誕生し、着実にその成果が出てきています。

引き続き馬主の皆様には、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

最後になりますが、今後お客様を競馬場にお迎えできた際には、感染症対策にしっかりと取組み、川崎競馬を盛り上げてまいりますので、改めてご協力をいただきますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

神奈川県川崎競馬組合 副管理者 鈴木 基義



ご挨拶

会員の皆様には、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策に基づく、外出自粛及び休業要請を受けている今日、いかがお過ごしでしょうか。お見舞い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症で死亡された方々のご冥福をお祈りするとともに、罹患された方々の一日も早い快癒をお祈り申し上げます。

今までの馬主生活の日常が喪失した新型コロナ禍に、落胆失望させられる日々です。

休業補償のない事実上の営業停止により、回復したい損害を受けられた事業者の精神的苦痛と経済的損失が計り知れない中であって、ご承知のとおり競馬は、無観客レースが施行されています。しかしながら、愛馬のご活躍を馬主等がご覧できない状況は、誠に残念です。

幸いに、主催者及びきゅう舎関係者の方々のご努力下、川崎競馬の開催自体は、つつがなく開催することができ、馬主経済には被害がない様に運営が行われていることに対し、衷心より敬意を表したいと思います。

新型コロナウイルス感染症は、いわゆる三密（密閉、密集、密接）を防ぐ方法で、感染防止に繋がると考えます。即ち、唾液が 2 メートル外部に飛沫するリスクを避ける効果が、この三密対策にあるからです。

競馬は、基本的に屋外の競技ですので、密閉ではないが、密集または密接の可能性があります。飛沫感染防止のマスク（フェイスマスクを含む。）の着用、入場者の体温測定、徹底した手指の消毒で、密集・密接のリスクを回避した感染防止対策が可能であり、早期に通常の観客開催することができるとは思いますが、個人的には考えています。

馬主席だけでも通常の運用を要望したい思いです。一刻も早い、新型コロナウイルス感染症の終息と観客競馬の再開を願ってやみません。

競走馬の生産現場に目を向ければ、新馬の市場取引の開催が危ぶまれています。ネットでのセリ方法の導入が話題になっていますが、やはり、実馬を間近に見て購入する体制が必要と考えます。

経済の建て直しも、競馬産業には大変重要な要素です。経済の建て直しに数年を要すると言う観測も出ており、今後、馬主経済に悪影響をもたらす可能性も示唆されますが、会員の皆様のご英知を賜り、役職員一同は、川崎競馬の持続的成長に貢献することを決意する次第です。

今後とも、会員諸賢に対しまして、川崎競馬の健全な運営にあたり、ご理解とご協力を賜りますことを伏してお願申し上げます。

おわりに、会員の皆様のご健勝並びに愛馬のご活躍をご祈念してやみません。

一般社団法人神奈川県馬主協会 会長 加藤豊三

会員の皆様へのお知らせ

我々、協会役員は、会員の皆様が、有意義な馬主ライフを過ごしていただけることを目的に、事業運営に努めています。そして、その事業に関し、常に厳しい第三者の目で検討を重ねています。

それは、言うまでもなく、当協会の運営が皆様の入会金・年会費と神奈川県川崎競馬組合からの補助金のみで賄われていることからであり、厳正かつ平等に実施することを最も重要視しています。

馬主の形態は、個人・法人・組合・共有・クラブ法人と様々ですが、すべての会員の皆様がすべて平等に、協会事業の恩恵を享受していただきたいと思います。

その中で、共有馬の問題について、近年協議・検討を重ねてきました。その検討過程で、令和 2 年度、「代表者が会員であり、その 51% 以上を保有する。」という考え方を取り入れることとしましたが、これについて、数々の意見をいただきました。

令和 2 年度の改正を唐突にお知らせし、会員の皆様に混乱を与えましたこと、深くお詫び申し上げます。

会員の皆様の混乱を避けるため、臨時共済委員会を開催し、一般馬、JRA 3 歳転入馬、共済制度については、51% ルールの適用を一定期間（令和 2 年 4 月 1 日から 12 月 31 日まで）猶予することとしました（適用開始：令和 3 年 1 月 1 日）。

- 令和 2 年度一般奨励馬・JRA 転入 3 歳馬、共済制度適用につきましては、12 月 31 日までに協会が実施する馬体検査に合格することを条件とします。
- 令和 2 年度市場取引馬につきましては、1 歳馬を市場で購入後、何人かの馬主で共有する場合、申請時に代表者が会員であり、その所有割合が 51% 以上であることを条件とします（※共有者全員が会員である場合は、代表者の所有割合は問いません。）。

※なお、着外給付につきましては、代表者の所有割合は問いません。

- 令和 2 年度その他の改正点（確認）
- ・高額奨励⇒市場取引奨励（事業名、助成額等を改正）
- ・育成施設活用補助制度（加筆）
- ① 原則、共済制度に加入していること。
- ② 帰きゅう後、2 か月以内に 1 走（完走）すること。

20200515 共済委員会で決定

令和 2 年度賞典奨励金等について

- 川崎在きゅう馬に対する出走奨励金：12 万円
- 川崎在きゅう会員所有馬の着外手当：主催者から 5 万円＋当協会から 3 万円★＝ 8 万円
- 川崎競馬場所属騎手騎乗での出走奨励金：1 万円
- すべての競走での入着奨励金：1 万円
- 3 歳以上馬 2,000m 以上の競走の出走奨励金：3 万円
- 2 歳馬 1,600m 以上の競走の出走奨励金：3 万円
- C 1 級 C 2 級の普通競走での入着付加奨励金（2 万円～ 40 万円、詳細は競馬番組に記載）を支給
- 川崎記念・エンプレス杯・スパーキングレディーカップ出走付加金（川崎在きゅう馬）：30 万円
- 2 歳新馬（能力試験合格後共済制度加入が条件）奨励金★：一律 100 万円（110 頭）
- 市場取引馬奨励金（拡充）★：50 名の会員にセリ価格（消費税抜き）に応じて助成（別掲）
- 3 歳 JRA 転入馬（3 歳中に、南関東で 1 走が条件）奨励金★：30 万円（50 頭）
- 共済制度の特典：休養から帰きゅうした馬並びに長期在きゅうした馬に付加金支給★
- 新馬戦・メインレース優勝馬の馬主（会員）へ記念品を贈呈★
- ★は当協会の会員限定の特典です。

*奨励馬・共済制度には、遵守事項がありますので、事務局にお問い合わせください。

ペーパーレスご希望の馬主様へ

馬主協会から郵送しております紙媒体でのお知らせ、馬主会ニュース等のペーパーレス化をご希望の方、馬主協会からのお知らせをメールでお受取りになりたい方に会員専用のメールアドレスを設置しました。

ご希望の方は下記メールアドレスまで

1. 会員番号
2. お名前
3. 受信希望メールアドレス

をお送りください。

owners@kanagawa-bashukai.or.jp

各お問い合わせ等もこちらのアドレスにて承ります。

*馬主会ニュース、番組表等は当協会ウェブサイトからもダウンロードできます。

また、随時お知らせも掲載しておりますのでご覧くださいませ。

www.kanagwa-bashukai.or.jp

金子正彦の Jockey Life ジョッキーライフ

■ Jockey Life ～藤江涉騎手～

金子正彦元騎手が聞く川崎ジョッキーズの素顔。

Jockey Life インタビューの第6回にご登場いただくのは藤江涉騎手。

宇都宮競馬廃止により川崎に移籍して15年。今でも毎朝23頭の調教つける真面目な努力家で関係者の信頼を集めています。

【金子】もう10時近いけど今まで調教に乗ってたの？

【藤江】毎日2時半の開門から乗っています。今、調教に騎乗する人が足りないんですよ。

【金子】ホント、一生懸命だよな。まずは騎手になるきっかけを教えてくださいんだけど、何かそういう環境があったの？

【藤江】まったく。親父がバリバリのサラリーマンだったから、なにか違う仕事をしたいという気持ちがあった。

中学2年くらいのときにダービースタリオンというゲームにハマっていて競馬には興味はあったし、友達と一緒に府中や近くにある宇都宮競馬に実際に見に行ったこともありました。

【金子】宇都宮競馬場の近くで育ったんだね。

【藤江】宇都宮競馬場までは自転車で30分くらいです。

【金子】騎手になるための学校があることも知ってたの？

【藤江】なりたいて思ってからでは自分で調べて、親父には内緒で応募しました。

中学3年で受けた中央が落ちて、進学してから地方の試験に受かったんですが、受かってから親父に話しました。教養センターは秋入学だったんで、高校には夏まで行って。

【金子】今はまず中央を受ける子が多いみたいだね。俺の頃は地方でも南関東だけで20人くらい受験してたから時代が違ってたんだ。全国から100人以上受験してたんじゃないかな。

それにしても、堅い親父がよく許してくれたね。

【藤江】やめなさいって（笑）。どうしても行かせてほしいと説得して、最後は親父が折れてくれたんですけど、騎手になってからもずっと言っていました。大学行って就職しろって。

【金子】たしか、いい高校行ってたんだよね。

【藤江】茨城の古賀第三高校っていう親父も行ってた学校で進学校でした。

【金子】今でもやめろって言う？

【藤江】30歳くらいまで言われてました（笑）。

【金子】1999年に宇都宮競馬でデビュー。宇都宮で300勝くらいしてるね。けっこう乗ってたんだね。

【藤江】学校にいる頃にうちに来ないかと声をかけてもらって星野由基男厩舎に所属して、デビューした頃からめちゃくちゃ乗せてくれる先生でした。宇都宮競馬廃止と共に競馬を離れてしまったんですが、今でも先生とはやりとりしています。

【金子】宇都宮競馬は2005年3月に廃止だから、6年乗ったんだね。ちょうど成績が上がってきた頃に競馬場がなくなった

【藤江】1着賞金が18万くらいになってましたから、これはやばいなというのはありました。最初に足利競馬がなくなって、高崎競馬が廃止になった3ヶ月後に宇都宮競馬も幕を閉じました。最後の日も実感がないまま、ああ終わっちゃうんだという感じでした。

【金子】川崎に移籍するのは決まっていたの？



撮影：真鍋元

【藤江】最後の日にはまだ決まっていなかったんですが、星野先生から、お前どうするんだって聞かれて、まだ乗り役やりたいですと答えと、知り合いだった川崎の長谷川蓮太郎調教師を紹介してくれました。

【金子】長谷川蓮太郎厩舎が外厩にあった頃？

【藤江】もう外厩ではなくて、小向トレセンに厩舎がありました。長谷川先生はもう高齢だったんで、3、4年後には引退してしまっ

【金子】川崎に慣れてようやく調子が上がってきたところだったのにね。

【藤江】長谷川三郎厩舎、久保秀男厩舎、足立勝久厩舎、そして今は山田質先生にお世話になっています。

【金子】調教師が亡くなったり、引退したりが続いたもんね。まだフリー（騎手会所属）がなかったし。それでも2010年には42勝している。こうして今までの成績を見ると、騎乗回数がすごく多いよね。21年間で10,239回騎乗って、ホントすごい。俺なんか38年間乗って16,482回だよ（笑）。

【藤江】10000回は騎乗したいというのが目標のひとつでしたから。それまでは辞めないと決めてました。

【金子】攻め馬の騎乗数を見てもそうだけど、真面目に一生懸命やっていることをみんなわかっている。レースでもガッツある騎乗をしているよね。

【藤江】僕に頼んでくる馬の中にはボンといけない馬も多いし、進んでいかない馬もいます。だけど頼んでもらったからにはとにかく諦めなくて騎乗する。馬がだんだん良くなってチャンスが回ってくることもあるし。ワンチャンスではなく、続けて乗せてもらえるような努力はしたいですね。

【金子】騎乗馬が減らないのはそんな地道な努力の積み重ねなんだね。川崎に来て、もう15年。こっちに来て結婚したんだっただね。あんな綺麗な奥さんどうやって知り合ったの？

【藤江】宇都宮にいた頃から付き合ってたんですけど、彼女が栃木の大学に通っていて知り合って、川崎に来た次の年に結婚しました。

【金子】競馬場が廃止されてつらい頃から支えてくれていたんだね。

【藤江】川崎に来てからもなかなか勝てないし、乗せてもらえない。きつかったですね。川崎に来た年は3勝ですから。結婚して、腹くくって、やるだけやってダメなら辞めようって。

【金子】ここ最近は怪我也多いよね？

【藤江】30歳を過ぎてから毎年のように怪我してますね。船橋の返し馬で骨盤を骨折して、その後は脾臓、肩の靱帯、去年はヒザ骨折。整体行ったり身体のメンテナンスは欠かせません。

【金子】怪我してもまた頑張ろうと思えるスイッチはあるの？

【藤江】怪我するときは気をつけていてもしますからね。自分で調教から乗っている馬が多いですから、その馬の癖は掴むようにしています。

【金子】癖のある馬でも断らないからなあ、藤江は。宇都宮では重賞を勝ってたよね。2004年のもみじ特別（北関東G3）。

【藤江】重賞っていっても賞金見ると1着60万で重賞じゃないみたいですけど。潰れる寸前でしたから。サンデーロバリーっていう馬でしたが、その時だけ妙に折り合いが付い

た。いつもは引っ掛かって乗りづらい馬だったんですけど。ヤマノダイナミックが人気を背負っていたので、自分のは3番人気。後ろから、あれあれって伸びてきた。

【金子】こっちに来て重賞勝ってないのが不思議。

【藤江】いやあ、今は重賞乗せてもらえるのも大変なことですよ。まして勝てる馬となると。2歳重賞も地方交流になって他地区から強い馬が来ますからね。もちろん勝ちたいですよ！

【金子】浦和所属馬に乗ること多いよね？

【藤江】浦和には北関東にいた厩務員さんが多いので、その縁で乗せてもらうこともあります。宇都宮時代には（森）泰斗さんとも一緒に乗ってましたが、泰斗さんが3位で、俺は7位って感じで。

【金子】教養センターでの同期は？

【藤江】高知の宮川実、今は大井の檜崎功祐。宮川は騎乗技術で満点だった。15人くらいデビューしたけど、今も現役なのは3人。

【金子】だから500勝達成したときのセレモニーで檜崎がプラカードを持っていたんだね。38歳か、先々のことは考えているの？

【藤江】もう少し乗りたいですね。その先に調教師になることも考えようかと。調教やレースに乗っていて、調教師になったらこうやってみたいというのはありますから。

【金子】調整ルームも綺麗になったね。この4月に立て替えたんだっただね。

【藤江】ひとりずつ個室の八畳でベッドが置かれてビジネスホテルみたい。快適に過ごせています。

【金子】前は六畳の畳敷き。騎手が多い時代は相部屋だったし。今は木馬だけじゃなくて、トレーニングルームもできたんだね。デビューから665勝という数字はどう？

【藤江】数字というより目の前の1勝。与えられた馬で自分がどうやって結果を出すかを考えています。



撮影：真鍋元

【金子】騎手として心がけていることはある？

【藤江】馬場の傾向だったり、相手の脚質を見図るためにも、自分が乗っていないレースもよく見るようにはしています。それから、その馬の良いところを引き出せるように乗ることですね。シビアな世界ではありますが、レースから上がってきて、笑顔で迎えてもらえるときに最高に嬉しいです。

【金子】そうなんだよ！ その笑顔を見るために頑張れる。今日はお忙しいなかをありがとう。これからもガッツある騎乗を期待しています。



★金子正彦プロフィール
1962年11月12日神奈川県出身。
1979年11月19日の騎手デビューから16,482戦1,227勝を挙げ2017年3月に引退。重賞勝ち東京ダービー（サイレントスタメン）、浦和記念（モエレトレジャー）、桜花賞（ミライ）、ハイセイコー記念（ソルテ）など11勝。現在は競馬専門紙等でコラムを執筆している。

南関東

なんかんだましい

高橋華代子の南関東競馬



前回の川崎競馬馬主協会ニュースが出てからこの号ができるまでに、川崎勢のうれしい出来事がたくさんありました！

～ゴールドホイヤー、羽田盃と雲取賞連勝～

混沌としていた今年の南関東クラシック戦線において、岩本洋厩舎の生え抜き馬ゴールドホイヤー（馬主 岡田初江様、生産 静内酒井牧場様）の存在は光りました。今年に入って雲取賞で重賞初制覇を飾ると、南関東クラシック1冠目・羽田盃でも勝利を収めて重賞連勝。

羽田盃は山崎誠士騎手が初騎乗し、レースは2番手から、抜群の手応えで最後の直線に入ると、残り200m付近で逃げ粘っていたファルコンウィングを交わし、後方から2着に突っ込んできたブラヴールの追撃を振り切りました。



川崎勢が羽田盃を制したのは、2004年のトキノゴジロー以来16年ぶりの快挙。

かなりヤンチャというゴールドホイヤーの調教パートナーを務めているのは阪上忠匡騎手。ゴールドホイヤーを語る上で、阪上騎手の存在も欠かせません。

その後は東京ダービーに1番人気で挑みましたが5着に敗れ、レース後に左膝の剥離骨折を発症していることがわかったそうです。とても残念ですが、今はゆっくり休んでまた元気でパワフルな走りを行っています！



～ヒカリオース、川崎記念2着！～

ゴールドホイヤーの厩舎の先輩にあたるのが、昨年の生え抜き東京ダービー馬ヒカリオース（馬主 西森鶴様、生産 ヒカル牧場様）。そんなヒカリオースが大いにわかしてくれたのが、今年の川崎記念でした。自身初の古馬JpnⅠレース。スタートダッシュがつかず、中団からいつもとは違う位置取りでしたが、それでも最後はしっかり伸びて、優勝したチュウワウィザードの2着と、地方馬最先着。

最近の川崎記念は地方馬が上位にくるのは非常に難解なレースですが、2011年にヒカリオースの父フリオースが優勝して以来となる地方馬最高着順でした。



～マンガン、東京湾カップ優勝～

田島寿一厩舎の生え抜き馬マンガン（馬主 大栗芳一様、生産 岡田スタッド様）は、5月6日に船橋競馬場で実施した東京湾カップで山崎騎手とのコンビで豪快に差し切って重賞初制覇を飾りました。重賞レースで惜しい2着が続いていただけに、悲願の肩掛けを獲得。田島調教師は2008年のローレル賞をヴィクトリーパールで重賞を初制覇して以来、約12年ぶりのタイトルでした。その後の東京ダービーは優勝したエメリミットのクビ差の2着。マンガンにとってはとても惜しい競馬になりましたが、どんな状況下でも確実に伸びてくる末脚で、これからも魅了し続けて欲しいです。

現在は秋に向けて夏休みに入ったそうです。



～ストロングハート、しらすぎ賞を制覇～

4月22日に浦和競馬場で行われた牝馬重賞のしらすぎ賞は、町田直希騎手が手綱を取った内田勝義厩舎のストロングハート（馬主（有）グランド牧場様、生産 グランド牧場様）が逃げ切り勝ちを収めました。北海道時代にエーデルワイス賞を勝ち、その年のNARグランプリ2歳最優秀牝馬を受賞している実力馬。南関東の一員になって約2年の月日が流れ、ついに南関東での初タイトルを獲得しました。



～酒井忍騎手とトキノノゾミ、たんぼぼ賞勝利！～

八木正喜厩舎の生え抜き馬トキノノゾミ（馬主 田中華子様、生産 田上勝雄様）が、2月27日に佐賀競馬場で行われた九州産馬の重賞・たんぼぼ賞で、酒井忍騎手とのコンビで参戦し、重賞初制覇を飾りました。トキノノゾミは宮崎県生まれのフリオース産駒。エスコートした酒井騎手は2009年の大井記念をライジングウェーブと制して以来の重賞勝ち。その後、酒井騎手はクラウンカップで船橋のウタマロとのコンビで久しぶりに南関東重賞勝ちも収めました。



佐賀県競馬組合提供

酒井騎手も今年47歳で、現在の川崎ジョッキーズの中では2番目にベテラン。当面の目標は地方通算2000勝を達成することだそうです。

～新人騎手たちがデビューしています～

以前、地方競馬教養センターから2人の実習生が研修に来ている話題を書かせて頂きましたが、その2人が無事にデビューし奮闘中です。

池谷匠翔（いけたにたくと）騎手は内田厩舎所属。神奈川県川崎市出身の18歳。父は体操選手の池谷直樹さんですが、子供の頃から「進路は自由に決めなさい」と言われてきたことで、騎手の道に進んだそうです。勝負服は、『赤、右黒たすき、そで青一本輪』。厩舎カラーである赤と黒、自分好きな色でもあるゴドルフィンブルーを入れたそうです。父の名前がクローズアップされがちですが、「今は自分の名前は知られていないので、いずれは『池谷』と聞いたら『匠翔』の方を皆さんから先に出して頂けるように頑張ります！」（池谷騎手）。現在は佐賀競馬場で期間限定騎乗を開始。



池谷騎手と古岡騎手

古岡勇樹（ふるおかゆうき）騎手は岩本厩舎所属。福岡県北九州市出身の19歳。小学4年の時に両親に小倉競馬場へ連れていってもらったのがきっかけとなり、馬を勝利に導く騎手の姿に魅力を感じたそうです。ヤングジョッキーズシリーズ2代目チャンピンの櫻井光輔騎手に憧れ、同じ川崎所属を希望したそう。勝負服は、『胴赤黒元ろく、そで黒』。岩本調教師が騎手だった時に使用していた元禄柄と、色は古岡騎手の好きな色を選んだそうです。初年度の目標は怪我なく一鞍一鞍丁寧に騎乗すること。地元の小倉祇園太鼓は得意技。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため無観客競馬で実施されていますが、1日も早く普通の日々が帰ってくることを祈りながら、次号でも川崎勢のうれしい便りがいっぱい届けられることを楽しみにしています！

（文・写真 高橋 華代子）

* 重賞・特別レース 勝利馬 *

関係者の皆様おめでとうございます！

*敬称略、5月開催まで

重賞レース 優勝

日付	開催	レース	レース名	馬名	馬主	調教師
R2.2.6	大井	11R	第2回雲取賞（SⅢ）	ゴールドホイヤー	岡田初江	岩本洋
R2.4.22	浦和	11R	第58回しらすぎ賞（SⅢ）	ストロングハート	（有）グランド牧場	内田勝義
R2.4.29	大井	11R	第65回羽田盃（SⅠ）	ゴールドホイヤー	岡田初江	岩本洋
R2.5.6	船橋	11R	第34回東京湾カップ（SⅡ）	マンガン	大栗芳一	田島寿一

川崎競馬（特別競走）優勝

日付	開催	レース	レース名	馬名	馬主	調教師
R2.1.28	第13回	9R	マイスターチャレンジC2	シゲルルビー	森中蕃	鈴木義久
R2.1.28	第13回	12R	王者の眼差し賞C1	ブルベアブロンゾ	森中蕃	鈴木義久
R2.1.29	第13回	10R	猛虎特別B3	コスモルシオ	（有）武田興業	鈴木義久
R2.1.30	第13回	10R	ジャン્યアリースター賞B2B3	エンパイアミライ	山下繁美	武井和実
R2.1.31	第13回	12R	東急不動産杯C1	ノワールムーティエ	吉田和美	内田勝義
R2.3.2	第14回	12R	萌え野特別C2	ハーモニーブレイブ	日下部勝徳	高月賢一
R2.3.3	第14回	12R	足柄山杯C1	ミスターシーバス	鈴木雅俊	高月賢一
R2.3.4	第14回	12R	望特別B3	ディアベリンダ	高樽秀夫	山崎裕也
R2.3.5	第14回	7R	アクアマリンフラワー賞3歳	ホワイトベリー	吉田照哉	内田勝義

R2.3.5	第14回	10R	大和撫子特別B3	ドンゲイボルグ	酒井孝敏	村田順一
R2.3.5	第14回	12R	見返り美人特別C2	ヒミノプリランテ	佐々木八郎	田邊陽一
R2.3.6	第14回	9R	春一番特別3歳	ビービーガニアン	（有）坂東牧場	山崎尋美
R2.3.6	第14回	11R	啓蛰特別B1B2	ブースター	矢部美穂	佐藤博紀
R2.4.13	第1回	1R	つくし特別3歳	ナリケイ	酒井孝敏	田邊陽一
R2.4.13	第1回	2R	たんぼぼ特別3歳	トライゾン	（有）山春牧場	鈴木義久
R2.4.13	第1回	3R	こなら特別3歳	フェノゴールド	西森鶴	岩本洋
R2.4.13	第1回	5R	福島睦美・陽向生誕記念	シトリン	田中俊平	佐藤博紀
R2.4.14	第1回	7R	フェアリーテイル特別3歳	リートスピーク	延原弘茂	山崎尋美
R2.4.15	第1回	12R	桜吹雪特別B3	ゲームスター	中村秀之	田島寿一
R2.4.16	第1回	8R	木蓮特別3歳	ドテライヤツ	（株）MMC	安池成実
R2.4.16	第1回	12R	蓮華賞C1	ジェイケイマッチョ	町田武	佐々木仁
R2.4.17	第1回	4R	水芭蕉特別3歳	シナノパワー	小林勝	高月賢一
R2.4.17	第1回	11R	2020川崎ジョッキーズカップ第1戦	エスプリロブ	依田泰雄	久保秀男
R2.5.12	第2回	2R	ホオジロ特別3歳	エイコーレイワ	山下榮一	原三男
R2.5.13	第2回	3R	オオヨシキリ特別3歳	エイシンハスカップ	金山幸司	山崎尋美
R2.5.13	第2回	10R	藤特別B2	ゲームスター	中村秀之	田島寿一
R2.5.14	第2回	7R	プレzza特別3歳	トゥーナノクターン	薄井隆博	山田質
R2.5.14	第2回	9R	明日葉特別3歳	オンギ	原久美子	池田孝
R2.5.14	第2回	10R	アルタイル特別B1B2	アッキー	佐久間拓士	林隆之
R2.5.15	第2回	11R	小田原市市制施行80周年記念	レインハート	橋本義次	加藤誠一
R2.5.15	第2回	12R	小田原市まつたけ梅丸30周年記念	シゲルポインター	森中蕃	鈴木義久

益々のご活躍をお祈りいたします！

小向トレセン
厩舎訪問

村田六郎 厩舎



は競馬並みの時計を出した。大事に地元中心に使って7連勝するかというときに2着でね、浦和の埼玉新聞杯も勝ってこれからって時に疝痛。七転八倒して丸一日近く苦しんだけど、結局助からなかった。解剖したら腸捻転を起こしていたし、胃の中はまっ白。ストレスで胃潰瘍を起こしていたんだね。利口で繊細な馬だった」。

現在は75歳。厩舎内だけでなく地域の活動にも積極的で、夏祭りとなれば「小向の北島三郎」としてステージで熱唱する。今年はコロナウイルスの影響で祭りがすべて中止になってしまったのは残念でならない。67歳まで調教にもまたがっていたというから驚くが、「本当は今でも乗りたいくらいだよ」と矍鑠としている。5年前には長男の順一さんが調教師となり、時には師弟、時にはライバルとして磨き合う日々。「馬の仕事がしたいと最初に言われたときにはエッ？って思った。今では自分のスタイルでやっているようだけど、一頭一頭の性格を見ながらエサの加減や運動量を変えたり、馬を手掛けるのは大変な仕事だからね。`馬は一生研究だぞ、馬のことをよく観察しろ。って自分が親父に言われていた言葉を今も大切にしている。今では馬に健康をもらってるよ」と話していても笑顔が絶えない。その笑いじわにすべてが刻まれているようだ。

(文 中川 明美)



令和2年新馬戦優勝馬

(※敬称略)

関係者の皆様

おめでとうございます！

出走日

馬名

父
母

馬主

厩舎

騎手

R2.5.15

1R

メガミリオン

ホッコータルマエ
パニラマカロン

大栗芳一

田島寿一

山崎誠士

R2.5.15

2R

プリモバイソン

バンブーエール
ブラックショコラ

(有) グランド牧場

内田勝義

森泰斗

R2.5.15

3R

ライジングサミット

エスポワールシチー
マミーフェスト

(有) 武田興業

田島寿一

町田直希

市場取引馬購入奨励金の抽選会について

令和2年5月15日（金）13時半から、川崎競馬場3階馬主会役員室において「市場取引馬購入奨励金受給資格者の抽選会」を行いました。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、最小限の人数にて、川崎競馬組合理業務部長、調教師会会長、協会理事の立会いのもと協会監事がすべての抽選を致しました。

今年度より名称、助成額も変更され、234名と例年よりさらに多くの方からのご応募をいただきました。
厳正なる抽選の結果、50名の方が当選されました。
(今年から補欠は設けません。当選された方には「当選通知」をお送りしました。)

今年度の奨励金は

- ・ 購買価格250万円未満の馬 → 購買価格の40%＋100万円（1万円未満切り捨て）
- ・ 購買価格250万円以上400万円以下の馬 → 一律に200万円（100万円＋100万円）
- ・ 購買価格400万円を超える馬 → 一律に250万円（150万円＋100万円）

となっています。

※北海道市場では、当選の方に神奈川県馬主会専用のバイヤーズナンバーを準備致します。

1歳馬市場で優駿に巡り会われ、愛馬が川崎競馬で活躍されることを願っています。



HBA 1歳馬セール

令和2年度一般社団法人神奈川県馬主協会定時総会の結果について

平素より、当協会の運営について、ご理解ご協力賜り、厚くお礼申し上げます。

令和2年5月30日（土）を期日として、書面決議方式で行いました定時総会の結果をご報告申し上げます。

決議事項

第1号議案（2019年度計算書類承認の件）は、次のとおり過半数の賛成により可決承認されました。

会員数 514（令和2年5月1日現在）

- ・ 委任状提出会員数：20
- ・ 書面による議決会員数：254 合計 274
- ・ 第1号議案 賛成274（反対なし）

可決承認

現新役員体制（令和元年5月25日～令和3年定時総会）

加藤 豊三 会長
高橋 照比古 副会長
田中 秋男 副会長
田中 準市 総務委員長 共済委員 広報委員
小泉 修 共済委員長 財務委員 広報委員
大栗 芳一 財務委員長 きゅう舎委員
武田 弘明 きゅう舎委員長
二瓶 徹 広報委員長
杉浦 和也 共済委員
須山 悟至 総務委員
松本 雅彦 きゅう舎委員
竹村 淳一 監事
大下 航 監事

新会員紹介

※敬称略

2月 城之内 勝己 千葉県
小橋 亮太 大阪府
（組）ウイル 東京都
3月 (株)ニッシンホールディングス 大阪府
4月 高橋 貢 群馬県
町田 武 埼玉県
四宮 圭 北海道
大迫 基弘 福岡県
川上 和彦 東京都
宮田 大三 茨城県
永見 貴昭 北海道
5月 豊島 愛子 東京都
斉藤 智明 東京都
近藤 洋司 広島県
(有)カーペラパークスタッド 北海道
小林 英二 埼玉県
辻 高史 東京都
今井 優 千葉県
AHC(株) 兵庫県
蕭 敬意 神奈川県
久松 朋史 岡山県
篠塚 和郎 茨城県
6月 三宅 勝俊 大阪府
小泉 学 北海道
吉田 郁実 神奈川県
田口 武志 千葉県
高田 秀信 大阪府
芳川 貴行 東京都
宮城 寛也 東京都
竹内 三年 愛知県

レース手帳についてのお知らせ

例年、会員の皆様に配布しておりましたレース手帳ですが、当協会の重要な事業である「奨励馬事業」の協会負担額が増えることを考慮の上、不要不急の経費を節減することとし、令和2年度は作成を断念しました。

楽しみにされていた会員の皆様にお詫びするとともに、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

川崎競馬場トピックス

- ・ 川崎競馬売り上げレコード樹立（令和元年度：765億円余）
- ・ 当協会会員数：500(個人・法人会員等)を突破
- ・ 小向きゅう舎練習馬場の調教環境改善（2期工事実施中）